

大和郡山市子ども・子育て会議
平成29年度 第2回会議

○開催日時

平成30年1月19日（金）午後2時～

○開催場所

大和郡山市役所 議会第1委員会室

○出席者

委員 12名

生田委員、乾委員、上田委員、往西委員、奥田委員、菅家委員、高田委員、堤委員、
内藤委員、森田委員、吉野委員、米田委員

（敬称略 五十音順）

事務局 4名

○傍聴人数

3名

○次第

1 開 会

2 議 題

（1）大和郡山市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて

（2）市内保育園のあり方について

（3）その他

3 閉 会

○議事

1 開 会

事務局：ただ今より、平成29年度第2回大和郡山市子ども・子育て会議を開催させていただきます。本日は、ご多忙の中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。私はこども福祉課の北浦でございます。本日の会議資料の確認をさせていただきます。

～配付資料の確認～

事務局：本日は、12名の委員の参加となり、過半数以上の方にご出席いただいておりますので、大和郡山市子ども・子育て会議条例第7条第2項に基づき、会議が成立する旨、ご報告させていただきます。また、この会議は原則公開となっております。傍聴希望の申し出がございましたら、会長より皆様にお諮りし、ご承認いただければ傍聴人の入場後、議事を進めさせていただく予定であります。では、開会にあたりまして、会長からご挨拶を頂きたいと思っております。

生田会長：本日はお忙しいなか、お集まり頂きありがとうございます。
今回、傍聴希望者が3名おられますので、傍聴に関する基準第2条に従い、委員の異議がなければ承認いたしますが、いかがでしょうか。

全委員：異議なし。

生田会長：では、傍聴希望者の傍聴を認めます。

(傍聴人入場)

現在、インフルエンザが猛威を振るっている中でありますが、皆様お元気でいらっしゃいますでしょうか。

今、私たちがこのように子ども・子育て会議の中で議論していることは、直ぐに結果があらわれるものではありません。この後5年、10年といった長いスパンの中で効果のあらわれるものであります。それが、教育や保育等の、子どもに対する施策となっていきます。今回も皆様からは様々なご意見を頂き、大和郡山市の子ども・子育て支援の充実を図っていければと思っております。それでは早速ですが、議題①：子ども・子育て支援事業計画の見直しについて、事務局より説明をお願いいたします。

事務局　～資料に沿って、平成27年度と平成28年度の計画値と実績値を説明。

それぞれの項目の計画数値を黒色で、平成27、28年度の実績数値を赤色で表しています。それぞれの内容について説明いたします。

・**幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策**

3歳以上児の1号認定については、平成27年度計画値1003に対し、実績値806、平成28年度計画値962に対し、実績値740となっております。

3歳以上児の2号認定については、平成27年度教育ニーズ計画値103に対し実績値0、保育ニーズ計画値809に対し実績値952、平成28年度教育ニーズ計

画値 118 に対し実績値 0、保育ニーズ計画値 790 に対し実績値 971 となっています。保育認定の児童が幼稚園を希望するニーズを見込んでいましたが、実績は 0 ということになります。

3 歳未満児の 3 号認定については、
0 歳児の平成 27 年度量の見込みと確保内容の計画値がそれぞれ 173 と 166 に対して実績値はともに 57、平成 28 年度量の見込みと確保内容の計画値が 168 に対して実績値が 59 となっています。

1・2 歳児の平成 27 年度量の見込みと確保内容の計画値がそれぞれ 507 と 497 に対し、実績値はそれぞれ 534、平成 28 年度計画値が 504 と 518 に対し実績値 520 となっています。

・地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策（事業の説明と計画、実績） 延長保育事業

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業です。

平成 27 年度計画値 557 に対し実績値 486、平成 28 年度計画値 541 に対し実績値 518 となっています。

放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊びや生活の場を与え、その健全な育成を図る事業です。

平成 27 年度、1 年～3 年計画値 279 に対し実績値 473、4 年～6 年計画値 153 に対し実績値 173

平成 28 年度、1 年～3 年計画値 280 に対し実績値 494、4 年～6 年計画値 148 に対し実績値 198 となっています。

子育て短期支援事業

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となったお子さんについて、児童養護施設等に入所していただき、必要な保護を行う事業です。短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）と夜間養護等事業（トワイライトステイ事業）がございます。

平成 27 年度計画値 126 に対し実績値 10、平成 28 年度計画値 122 に対し実

績値 20 となっています。

地域子育て支援拠点事業

地域において乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

平成 27 年度計画値 1726 に対し実績値 680、平成 28 年度計画値 1663 に対し実績値 816 となっています。平成 27 年度は、親子たんとん三の丸広場の会場である中央公民館の耐震化工事により使用できない期間があったため、実績値は低いものとなっています。また、平成 28 年度からは郡山東保育園での事業が始まったことから、高い数値となっています。

一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業です。

幼稚園在園児について

1号認定による利用、平成 27 年度計画値 4510 に対し、実績値 1487、平成 28 年度計画値 4275 に対し、実績値 1579 となっています。

2号認定による利用、平成 27 年度計画値 15710 に対し、実績値 0、平成 28 年度計画値 15383 に対し、実績値 51 となっています。

幼稚園在園児以外について、

平成 27 年度計画値 8483 に対し、実績値 870、平成 28 年度計画値 8310 に対し、実績値 1692 となっています。これは子育て短期支援事業の夜間養護等事業（トワイライトステイ事業）、ファミリー・サポート・センター事業、保育所での一時預かり事業の数値の合計となります。夜間養護等事業（トワイライトステイ事業）の利用者は両年度ともに無く、保育所での一時預かり事業が平成 28 年度から郡山東保育園で開始されたものでありますため、平成 27 年度の実績はかなり低い数値となっています。

病児病後児保育事業

病児病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業です。

平成 27 年度計画値 594 に対し実績値 0、平成 28 年度計画値 571 に対し実績値 3 となっています。平成 28 年度から郡山東保育園で事業開始となったため、平

成27年度の実績は0です。

ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

平成27年度、1～3年生計画値410に対し実績値21、4～6年生計画値211に対し実績値263。

平成28年度、1～3年生計画値412に対し実績値36、4～6年生計画値204に対し実績値116となっています。

利用者支援事業

子どもや保護者が、認定こども園・保育所・幼稚園での学校教育・保育や一時預かり、放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業の中から適切なものを選択し円滑に利用できるよう、福祉に関わる各機関で相談を含めた支援を行います。

福祉に関わる各機関において、教育・保育施設や地域の子育て支援の事業等の利用に関する情報集約と情報提供を行うとともに、子どもや保護者からのそれらの利用にあたっての相談に応じ、それらの人々に必要な情報提供や助言、関係機関との連絡調整等を図っていくというものです。

平成27年度、28年度ともに、1箇所での開催の計画に対し、実績も1箇所となっています。

乳児家庭全戸訪問事業（保健センター）

生後4ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

平成27年度計画値660に対し実績値594、平成28年度計画値655に対し実績値573となっております。

養育訪問支援事業（保健センター）

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

平成27年度計画値10に対し実績値15、平成28年度計画値10に対し実績値28となっております。

妊産婦健診（保健センター）

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業です。

平成27年度計画値934に対し実績値975、平成28年度計画値908に対し実績値975となっています。

これらの中で、計画値と実績値に乖離があるものを、赤色の枠で囲んであります。その項目は、

- ・放課後児童クラブ事業
 - ・子育て短期支援事業
 - ・地域子育て支援拠点事業
 - ・一時預かり事業
 - ・病児病後児保育事業
 - ・ファミリー・サポート・センター事業
- の、6つの項目です。

生田会長：何かご意見、ご質問はありますか。

米田委員：計画と実績が大きく離れている要因としてはどのようなものがありますか。

事務局：地域子育て支援拠点事業については、平成27年度途中に会場となる中央公民館が耐震工事のため使用出来ない期間がありましたことと、翌年度の新たな1箇所の拠点が開設されたことがあります。病児病後児保育事業については、平成27年度からの開設を予定していましたが、実際には平成28年度からオープンしていることが挙げられます。

米田委員：ファミリー・サポート・センターについては、私が保育に関わっている桜井市にもあるのですが、利用者は減少してきています。これについては事業のPRが少ないこともひとつの要因なのですが、児童虐待の事前抑止につなげることができるという、大いに意義のあるものなので、実績がないからといって、計画値を少なく見直すことはやめていただきたいと思います。

事務局：実績に合わせて計画値を下げる予定はありません。また、実績値が計画値よりも小さいものについては、それを必要とされる方々に向けて事業のPRをしっかりと行いたいと思っております。

乾委員 : 大和郡山市のファミリー・サポート・センター（こどもサポートセンター）は10年前にオープンしました。この資料の「ファミリー・サポート・センター」の項目に挙がっているのは、小学生（低学年と高学年）のみであります。センターにおいては0歳児から受け入れております。また、当時と比較しますと、市内に保育園や一時預かりが増加したことともない、利用者数は減少しています。しかしながら、こども福祉課や保健センターと連携をとりながら、センターにおいて問題が見受けられる子どもは見守りにつなげることが出来ています。送迎の事業もあり、利用人数は減少しているものの、センターとしての活動の幅は広がってきています。

生田会長 : 放課後児童クラブ事業は、計画値よりも実績値の方が大きい数値です。放課後児童クラブ事業の実績値について説明をお願いします。

事務局 : 放課後児童クラブ事業の実績値についてご説明いたします。

見込値ですが、平成25年にニーズ調査を行いました。このニーズ調査では就学前児童の利用意向を反映しているため、低学年、高学年ともに実際の利用状況より、大きな数値になっているため、小学生対象調査結果から推計値を量の見込みとしました。

平成27年の1～3年の見込は279名、4～6年の見込は153名、平成28年の1～3年の見込は280名、4～6年の見込は148名と見込みました。

この算出は、国が示した『市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き』に基づき算出したものであります。

実績値は平成27年の1～3年の見込は474名、4～6年の見込は173名、平成28年の1～3年の見込は494名、4～6年の見込は198名となっています。

この実績により、当市に於いては、国が示した計算式よりも実績が上回っている事がわかります。

次期の「大和郡山市子ども・子育て支援事業計画」は、平成32年度から5年間の計画となります。そのためには、その前年度である平成31年度、内容によっては平成30年度、来年度の途中から新たな計画内容や計画数値を検討することになります。つまり、中間年である今年度に数値を見直したとしましても、まもなく再度見直し

必要となります。

したがいまして、中間年度である今年度の見直しはおこなわず、次期計画作成時の課題としたいと思いますがいかがでしょうか。その際には、この「子ども・子育て会議」の場におきまして皆様にお諮りしながら次期計画の作成をすすめてまいりたいと思います。

生田会長：他市の見直し状況はどうでしょうか。

事務局：現時点では、近隣の市では奈良市、天理市が見直し項目がいくつかあると聞いています。生駒市では、当市と同様の理由で、中間年である今年度には見直しは行わない予定であると聞いています。

生田会長：いかがでしょうか。大和郡山市は中間年度である平成29年度の計画数値見直しは行わず、見直しが必要な項目については次期計画策定時に検討を行うということで皆様いかがでしょうか。ご意見等ございますでしょうか。

<なし>

ないようでしたら、大和郡山市子ども・子育て支援事業計画の中間年度の見直しは「行わない」としたいと思います。

生田会長：続きまして、議題2：市内保育園のあり方について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局：本年度第1回目子ども・子育て会議におきましては、

- ① 矢田山保育園・矢田幼稚園を統合する(仮称)矢田認定こども園
- ② 郡山西保育園の建て替え
- ③ やまと保育園の分園
- ④ 平和保育園・幼稚園を統合する(仮称)平和認定こども園
- ⑤ 郡山保育園保育室の増築
- ⑥ 昭和保育園について

以上6点についてご説明申し上げました。

生田会長：これらについて、何かご意見やご質問はございませんか。

<なし>

では、その他に何もございませんでしたら、これですべての議事が終了しましたので、これをもちまして、私の司会を終了させて頂き、事務局をお願いしたいと思います。また、会議終了後に気づかれた点等がありましたら、事務局までお知らせ頂ければ結構ですので、よろしくお願いいたします。

事務局：本日ご審議頂きました内容につきましては、後日、市のホームページで掲載させて頂く予定でございます。本日はありがとうございました。

以上